れんごう 愛媛



ゆとり豊かさ社会的公正 生活者重視社会の実現

連合愛媛HP

No 373 2025.9

平成2年5月10日 第三種郵便物認可 定価/1部50円(組合員の購買料は会費に含む) 定日/毎月1回10日発行

日本労働組合総連合会愛媛県連合会(連合愛媛)

〒790-0066 松山市宮田町132-1 四国ろうきん松山ビル4F 発行人 白 石 浩 豆 TEL 089-941-0500 編集人 寺 田 淳 泰

核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう!



8月5日(火)に、「平和行動 in 広島」に合わせ、戦後80年の節目を迎え、平和について親子で考える機会にして頂くことを目的に、「親子平和学習」のバスツアーを企画し、構成組織から8家族21名と事務局3名の総計24名で参加しました。

沖縄からリレーされた平和行動の第2弾として、ピース・ウォークに参加し、連合広島 青年・女性委員会メンバーから平和記念公園内の慰霊碑について説明を受け、それぞれの 慰霊碑に込められた平和への願いを知ることができました。

特に印象に残っているのは、「原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑」で、被爆した裸身の女教師が子どもを抱いて絶望的な悲しみのまなざしで空を見上げている銅像で、台座には原爆詩人「正田篠枝」さんの短歌が刻まれています。「太き骨は 先生ならむ そのそばに 小さきあたまの骨あつまれり」先生を頼って集まったまだ小さい子どもたちの気持ちや先生が助けたいと思っただろうにどうすることもできなかった無念さを思うと本当に辛く、可哀そうで胸が苦しくなりました。

その後は会場を移して行われた「被爆 80 年連合 2025 平和ヒロシマ集会」で、被爆体験証言者の切明千枝子さんから当時の壮絶な体験談を聞くことができました。改めて戦争や原爆の悲惨さを思い知り、平和活動の重要性を再認識するとともに、二度とこのような戦争を起こしてはならないと強く感じました。

平和アピールでは、全国からの参加者(1,669名)全員で核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現をめざしていくことを誓い合いました。今回の平和行動に参加して、それぞれの家族単位で平和学習に取り組み、家族で平和について考える良い機会となりました。













2025 原爆写真展を開催

8月9日(土)連合愛媛青年委員会と女性委員会の合同企画で「2025 原爆写真展」を開催しました。

当日は、松山まつり野球拳おどりも開催中で多くの人出があったことから一般の方も多く、加えて、各組織からも多くの方に来場いただき、昨年を20名以上上回る多くの来場者となりました(201名)。

会場では、昨年同様に折り鶴を作成できるコーナーも設け、青年委員会・女性委員会役員や来場者の方々で多くの折り鶴を作成し、今年同様に 2026 平和行動 in 広島参加時での献納を予定しています。

戦後80年の節目ともなる年での開催で関心が高まっていることもあってか、戦争を知らない世代の方々の来場も多くありました。今後、語り部ともなる戦争体験者がさらに少なくなることもあり、戦争を知らない私たち世代がしっかりと風化させることなく取り組んでいくことが重要です。

連合愛媛の取り組みの一つとして、戦争のない、平和な世の中であることの尊さを将来にわたって語り継ぐため、「戦争を知らない私たちができることは何か、それは、忘れないこと、語り継ぐこと、繰り返さないこと」をスローガンとし、今後も継続して取り組むこととします。







8月8日(金)に、連合平和4行動の「平和行動 in 長崎」が長崎市総合体育館で開催され、連合愛媛から8名が参加しました。

平和集会では、連合長崎の髙藤会長から「被爆地長崎の労働組合として、核兵器廃絶と世界の恒久平和への発信力をさらに強めていく」と述べられ、主催者を代表して連合の芳野会長からは、「核兵器は人類史上最も非人道的な兵器であり、3度目の核使用を許してはならない。唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界の実現に向け不断の外交努力を政府に強く求めて行く」と連帯のあいさつがありました。

翌日は、連合の平和学習会でもあるピース・ウォークに参加しました。爆心地公園にある原爆落下地点からスタートし、原爆が爆発した当時の悲惨な状況や、残っている被爆した建物について説明を受けました。その後、平和記念公園に移動し、平和への願いを込めた、各所や像について説明を受けました。

改めて多くの人の命を一瞬にして奪ってしまう原爆の恐ろしさを現地で学び、世界では原子爆弾保有国が複数あり、二度とこのような惨状を起こさないために、被爆国から平和に対するメッセージを発信し、次世代へ歴史や平和への願いを語り継いでいく必要があることを認識しました。





